

平成30年度 第1回及び第2回 大阪市建設事業評価有識者会議 事業再評価対象事業一覧表

番号	事業名	所管局	再評価理由	前回事業費(億円)	事業開始年度	前回対応方針	a	b	c		d	e	備考(a~eの補足等)
							対応方針	B/C	事業進捗率		事業内容の見直し等に伴う事業費の増減の有無(増減額)	完了年度延長の有無(完了年度)	
									前回評価時の事業進捗率(事業費ベース)	現在の事業進捗率(事業費ベース)			
1	[街路] 歌島豊里線整備事業	建設局	④ [4回目]	247	S48	継続A	継続A	2.8	94%	98%	無	有 H30⇒H39	・重点的に整備を行い、阪急電鉄京都線・千里線との交差点を除き、H28に概成済みである。 ・残る交差点について、H36に予定している連続立体交差事業による阪急電鉄京都線・千里線の高架切替後、重点的に整備し、完了年度での完了を見込んでいる。
2	[街路] 本庄西天満線(神山)整備事業	建設局	④ [4回目]	191	H6	継続B	継続B	1.2	85%	86%	無	有 H30⇒H39	・優先的に進める他の路線の進捗状況をみながら、予算の範囲内での事業実施に努めたが、完了予定年度での完了が困難となり、期間を延長した。 ・今後、優先的に進める他の路線の収束に合わせ予算を確保し、本格的に、残る用地取得と、JR大阪環状線との交差点を含む道路整備を進め、完了年度での事業完了を見込んでいる。
3	[街路] 東野田河堀口線(大手前)整備事業	建設局	④ [4回目]	22	S56	継続B	継続B	1.4	64%	64%	無	有 H30⇒H36	・優先的に進める他の路線の進捗状況をみながら、予算の範囲内での事業実施に努めたが、完了予定年度での完了が困難となり、期間を延長した。 ・今後、優先的に進める他の路線の収束に合わせ予算を確保し、本格的に、残る用地取得と道路整備を進め、完了年度での事業完了を見込んでいる。
4	[街路] 尼崎平野線(山王)整備事業	建設局	④ [4回目]	47	S50	継続B	継続A	1.2	39%	48%	無	有 H29⇒H37	・H26.4に策定した「大阪市密集市街地重点整備プログラム」に基づき、都市の防災骨格となる当該路線について、重点的に予算を確保して用地交渉にも臨んだが、権利者との協議に時間を要したため完了予定年度での完了が困難となり、期間を延長した。 ・今後も重点的に予算を確保し、用地確保できた区間から段階的に整備を進めることで、完了年度での完了を見込んでいる。
5	[街路] 豊里矢田線(鳴野・蒲生)整備事業	建設局	④ [4回目]	150	S61	継続C	継続B	1.0	65%	67%	無	有 H28⇒H39	・限られた予算の範囲内で買取のご要望に対応したが、完了予定年度での完了が困難となり、期間を延長した。 ・今後、優先的に進める他の路線の収束に合わせ予算を確保し、本格的に、残る用地取得と、寝屋川に架かる鳴野橋の拡幅架け替えを含む道路整備を進め、完了年度での事業完了を見込んでいる。

平成30年度 第1回及び第2回 大阪市建設事業評価有識者会議 事業再評価対象事業一覧表

番号	事業名	所管局	再評価理由	前回事業費(億円)	事業開始年度	前回対応方針	a	b	c		d	e	備考(a~eの補足等)
							対応方針	B/C	事業進捗率		事業内容の見直し等に伴う事業費の増減の有無(増減額)	完了年度延長の有無(完了年度)	
									前回評価時の事業進捗率(事業費ベース)	現在の事業進捗率(事業費ベース)			
6	[街路] 正蓮寺川北岸線(伝法)整備事業	建設局	④ [4回目]	68	H1	継続C	継続C	1.3	31%	41%	無	有 H29⇒H43	・限られた予算の範囲内で買取のご要望に対応したが、完了予定年度での完了が困難となり、期間を延長した。 ・今後、当面は買取のご要望への対応など限定的となるが、優先的に進める他の路線の収束に合わせて、予算確保できれば、阪神なんば線淀川橋梁架け替え事業の進捗と合わせて事業を実施し、完了予定年度での完了を見込んでいる。
7	[街路] 尼崎堺線(住之江)整備事業	建設局	④ [4回目]	12	H6	継続C	継続B	1.1	63%	64%	無	有 H29⇒H36	・限られた予算の範囲内で買取のご要望に対応したが、完了予定年度での完了が困難となり、期間を延長した。 ・今後、優先的に進める他の路線の収束に合わせ予算を確保し、本格的に、残る用地取得と道路整備を進め、完了年度での事業完了を見込んでいる。
8	[道路] 国道479号清水共同溝整備事業	建設局	④ [3回目]	110	H11	継続A	継続A	1.4	59%	87%	無	有 H28⇒H32	・中間立坑構造変更による支障物件の移設に時間を要したため
9	[住区基幹公園整備] 巽公園整備事業	建設局	④ [5回目]	163	S63	継続C	継続C	3.2	96%	98%	有 163⇒162億	有 H29⇒H35	・財政状況や地権者との用地交渉期間を踏まえて、完成年度を精査した。 ・整備内容の精査を図った結果、総事業費が減少した。 ・現在、公園整備面積の72.0%が開設・供用されているため、一定の広場としての公園機能は果たされており、遅延の影響は少ないとされるため、対応方針としては(C)である。

平成30年度 第1回及び第2回 大阪市建設事業評価有識者会議 事業再評価対象事業一覧表

番号	事業名	所管局	再評価理由	前回事業費(億円)	事業開始年度	前回対応方針	a	b	c		d	e	備考(a~eの補足等)
							対応方針	B/C	事業進捗率		事業内容の見直し等に伴う事業費の増減の有無(増減額)	完了年度延長の有無(完了年度)	
									前回評価時の事業進捗率(事業費ベース)	現在の事業進捗率(事業費ベース)			
10	[下水道] 大阪市公共下水道事業(抜本的浸水対策事業)	建設局	④ [4回目]	9,600	S56	継続A	継続B	2.4	69%	72%	無	無	<p>下水道事業は面的に整備された下水道管とそれにつながる処理場、ポンプ施設等が一体となって機能を発揮するものである。</p> <p>そのため、個別施策毎や個別事業毎で評価することは非常に難しく、下水道機能を維持・向上させるためには、各施策を継続的に実施する必要があり、単純に各事業の優劣をつけることはできない。</p> <p>しかし、限られた予算の中で事業の優先度の検討を行った結果、合流式下水道改善事業については、既存施設の有効活用、新技術等の導入や計画汚水量の見直しも含めた事業の再検討を実施することで達成年限での事業完了が見込めるため、経営戦略を踏まえ継続Aとした。</p> <p>なお、他の事業についても、限られた財源の中で市民への安心安全の水準を低下させないように、今後も創意工夫を図りながら、継続的に実施していく。</p>
11	[下水道] 大阪市公共下水道事業(合流式下水道改善事業)	建設局	④ [4回目]	2,000	H3	継続B	継続A	6.4	46%	53%	無	無	
12	[下水道] 大阪市公共下水道事業(高度処理事業)	建設局	④ [4回目]	350	H19	継続B	継続B	9.4	4%	11%	無	無	
13	[土地区画整理] 大阪都市計画事業三国東地区土地区画整理事業	都市整備局	④ [3回目]	474	H10	継続B	継続A	1.1	42%	59%	無	有 H32⇒H40	
16	[港湾整備] 臨港鉄道整備事業(北港テクノポート線)	港湾局	⑥ [2回目]	1,140 (南ルート694)	H12	休止D	継続A (南ルート)	1.2 (南ルート)	39%	64% (南ルート)	無	有 H33⇒H36 (南ルート)	<p>・夢洲の国際観光拠点の形成を段階的に進めることとしており、鉄道網についても、夢洲の土地利用の状況に応じて段階的に整備することから、南ルートの完了予定年度は平成36年度とする。</p>

※再評価理由の番号については、次のとおり

【国庫補助事業】

- ①市が国庫補助金の交付を受けた事業で、行政機関が行う政策の評価に関する法律(平成13年法律第86号。以下「行政評価法」という。)第7条第1項に基づき、行政機関(行政評価法第2条第1項に定めるものをいう。)の長が定める事後評価の実施に関する計画において対象となるもの。

【国庫補助事業以外の事業】

- ②市が事業主体である事業で、事業開始年度から起算して5年目の年度において未着工のもの(平成26年度に事業開始分)
- ③市が事業主体である事業で、事業開始年度から起算して5年目の年度において継続中のもの(平成26年度に事業開始分)
- ④事業再評価を実施した年度から5年以上が経過し、なお継続中の市の事業(平成25年度事業再評価実施分)
- ⑤事業開始以降、都市計画変更を実施した場合においては、当該変更を実施した年度から5年以上が経過し、なお未着工又は継続中の市の事業(平成25年度に都市計画変更を実施したもの)

※事業番号14 市営住宅建替事業(大阪市地区地域居住機能再生推進事業)及び事業番号15 第6貯木場土地造成事業については、第3回有識者会議委員意見公表後に対応方針を公表予定。